PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

63-253348

(43)Date of publication of application: 20.10.1988

(51)Int.CI.

G03B 42/02 A61B 6/00 GO6F 15/62 H04N 1/04

(21)Application number: 62-087500

(71)Applicant: FUJI PHOTO FILM CO LTD

(22)Date of filing:

09.04.1987

(72)Inventor: WATANABE YUKIO

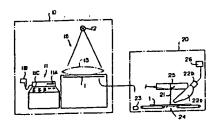
(54) RECORDING AND READING SYSTEM FOR RADIOGRAPH INFORMATION

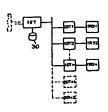
(57)Abstract:

}

PURPOSE: To permit an optional image reader to read an accumulation type fluorescent material sheet registered by any registration means by connecting plural registration means and plural image readers to an information control means managing integrally ID information.

CONSTITUTION: A photographing chamber 10 is provided with an ID terminal 11 registering ID information on photographing, and the image reader 20 is provided with a bar code reader 23 reading the bar code of the accumulation type fluorescent material sheet 1. After the ID information inputted to each ID terminal is compared with the bar code, they are inputted to an ID control terminal IET, and are stored on a shared file 30. When the bar code is inputted to the ID control terminal IET from each image reader IRS through an ID terminal IDT, the corresponding ID information is called, and the image reading part that has outputted the bar code sets





read conditions and processes an image based on the ID information. Thus any image reader can read any accumulation type fluorescent material sheet inputted through any ID terminal.

⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭63 - 253348

@Int.Cl.*	識別記号	庁内整理番号		❷公開	昭和63年(1988)10月20日
G 03 B 42/02 A 61 B 6/00 G 06 F 15/62 H 04 N 1/04	3 0 3 3 9 0	B-7811-2H K-7232-4C 8419-5B E-8220-5C	審査請求	未請求	発明の数	1 (全5頁)

匈発明の名称 放射線画像情報記録読取システム

②特 類 昭62-87500

型出 願 昭62(1987)4月9日

⑫発 明 者 渡 辺 由 木 雄 神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地 富士写真フィルム

株式会社内

⑩出 願 人 富士写真フィルム株式 神奈川県南足柄市中沼210番地

会社

②代理人 弁理士 柳田 征史 外1名

卵 糖 肉

1. 発明の名称

放射線質象物報記録読取システム

2. 特許請求の範囲

3. 発明の詳細な説明

(発明の分野)

本発明は苦機性性光体シートに放射線整数情報の記録を行なった後、この表積性世光体シートに設定された放射線機動物組の残取りを行なう放射機関を情報記録鉄取システムに関し、特に詳細には、上記システムにおける被写体情報。最影情報等の情報の登録方法の改良に関するものである。(従来の技術)

ある個の世光体に放射線(X輪、α輪、8輪、 で輪、 常外線、 電子線等)を限削すると、この放 射線エネルギの一部が世光体中に書積され、この 世光体に可被光等の励起光を駆削すると、蓄積されたエネルギに応じて世光体が輝尽発光を示すこ とが知られており、このような性質を示す蛍光体 は蓄積性世光体と呼ばれる。

この書稿性労光体を利用して、人体等の被写体の放射範囲教育報を一旦書稿性労光体のシートに記録し、この書稿性労光体シートをレーザ光等の 励起光で走変して輝尽発光光を生ぜしめ、初られ た郊尽邦光光を光電的に読み取って 医飲信号を切、この面包信号にはづき写真感光材料等の記録材料、 CRT等の表示装置に被写体の放射線面像を可視像として再生する放射線面像質報記録再生方法が 本川新人によりすでに要素されている。(特別和 55-12429号。 阿56-11395号など)

面像を打ることができる。

上記方法において新稿性批光体シートはまず版 影験置において顕像情報の記録(撮影)が行なわ れるが、この撮影に先立って、被写体の性別。氏 名符の被写体情報および、貴影年月日、撮影部位 といった粗彫筒程等の10(Identification)情 程の登録が行なわれる。すなわち、雑形技器の近 的には適常上記1D併収の登録手段としてJDタ ーミナルが駆けられており、このJDターミナル に予め必要な情報が配入された風気カードや手助 機作物により、上記ID情報が入力される。また 蓄積性世光体シートには適常験シートを他の蓄積 性世光体シートと区別するための設別記号として パーコードが扱けられており、1Dターミナルに おいては上記ID替報の登録とともパーコードの 敗取りも行なわれ、1Dターミナルは上記1D債 似とパーコードを対応させて配復手段に配憶させ る。一方、撮影核量で撮影の終了した蓄積性蛍光 休シートは画像跳取装置に張場されて画像領報の 飲取りが行なわれるが、蓄積性蛍光休シートは画

無洗取钱置に装切されると再びパーコードが飲み取られ、洗み取られたパーコードは前記記憶手段へ送られて記憶手段からは同一のパーコードに対応する。 D 情報が引き出される。 このようにして特られた! D 情報は顕微説取装置に入力され、読取装置内においては! D 情報に基づく誘取条件の設定や面象処理が行なわれる。

(発明が解決しようとする問題点)

1

そこで木発明は、前述した登録手段および百数

商物は取該置がそれぞれ複数設けられているシステムにおいて、どの登録手段でID情報の登録をした蓄積性蛍光体シートも任意の画像は取該置で 読み取りを行なうことのできる放射線画像情報記 録数取システムを提供することを目的とするもの である。

(関題点を解決するための手段)

本発明の放射線面線情報記録放取装置は、前途というでは、複数の登録手段がよび画像放取装置をそれぞれ複数の登録手段に入力された情報を一括して配値し、配便した情報を適定では、前に被したの登録手段がよび駆像誘取装置を前配情報管理手段に接続したことを特徴とするものである。

なお、前記的報管理手段は前記製品の登録手段の1つと無用されていてもよい。また登録手段および函数以取手段が情報管理手段に投続されているとは、いずれの登録手段および函数技取手段も情報管理手段に対して情報の受け該しを行なうことのできる状態を意味するものであり、画像装取

装回は賃担信理手段と直接接続されていてもよい し、登録手及を介して賃担信理手段と接続されて いてもよい。

(PF JU)

上記システムにおいては各型録手段に入力された情報は情報管理手段において一括して管理され、情報を担けないて管理される情報は適宜顕微跳取装置に伝えることができるので、難影を行なう際に10情報等の登録が行なわれた機能性優先体シートは、どの登録手段において登録が行なわれたかにかかわらず、任意の胸像誘取装置で誘取りを行なうことができる。

また、上記のように対影に関する情報を情報管理手段において一括管理すれば、各種の執計情報を関耶に得ることができる他、蓄積性蛍光体シートのにその使用函数を検索することもできるので蓄積性蛍光体シートの寿命管理も容易に行なうことができる。

(灾 施 册)

以下、園面を参照して木発明の実施例について

入力され、入力された I D 情報はパーコードと対応付けられて後述する情報管理手段である I D 管理ターミナルに記憶される。このように I D 情報の登録の枝了した蓄積性 受光体シートは健影が15において X 輸棄等の放射 輸 厭 12に被写体 13を挟んで対向する位置に配され、この状態で 放射線 顕 12 が作動されて被写体 13の 放射線 面像 6 体が行なわれる。

型形の終了したお孫性が光体シート1は顕影空10から取り出されて簡優談取 翻 20においては、 副走 五手段 24により 激送される 3 務性世光体シート上に光偏内器 25により 温内される 3 協性世光を主走 五世 しめる 正とにより 3 私性世光を主走 五世 しめる 正体情報を 10 おした光である 節尽 光光が生 ぜしめられ、 この 輝 尽 光光 は 水 ガ イ ド 22 a を 介 し て フォトマルチ ブライヤー 等の 光 検 山 密 22 b に より 検 出される アブライヤー 等の 光 検 山 密 22 b に より 検 出される 2 大 検 山 器 22 b に か 気 気 信号 に 致 後 され、 初られた 無 気 信号 は 面 象 処 21 値 2 に 送 5

説明する。

第1回は木発明のシステムにおける撮影および 鉄取りの概要を説明する根略圏である。

本システムにおいて、 蓄積性 世光 休シート 1 は まず撮影室10において放射枠面条情報の記録(程 彫)が行なわれる。またこの規影空10には過形に 関する情報である「D賃報を登録する登録手段で ある1Dターミナル11が良けられている。この 1 D ターミナル11には、独写体の氏名。性別等の被 写体的相および、難能年月日。雑形両利、観影方 法。機影節位等の撮影情報といった「D情報が、 そめこれらの情報が入力されている I D カードが I D カード受付口11A に押入されるか、またはキ ーポード110により直接入力されることにより入 力される。また前足其積性世光体シート1はその 裏面にパーコード(因示せず)が似けられており、 1Dターミナル11はこのパーコードを取み取るパ ーコードリーダー11Bを借えている。普積性世光 体シートは顕彰に先立ってそのパーコードを読み 取られるとともに【D情報が【Dターミナル11に

れて必要な面像処理が行なわれる。また面像焼取 核 置 2 0 内には 普 税 性 蛍光 体 シート 1 の パーコード を 読 み 取る パーコードリー ダー 2 3 が 設 け ら れ て お り 、 著 税 性 蛍光 体 シート は 上述 し た 顕 像 情 報 の 競 取 り に 先 立って そ の パーコード が 読 み 取 ら れ る。

本システムは、上述した i D ターミナルおよび 面散 認取 装置をそれぞれ 複数 協えたものとなって いる。 複数の i D ターミナルは、 前述のように の 数 が i D が i D クーミナルは i D クーミナルは i U が i D の i D クーミナルは i U が i C が i C の i D クーミナルと、 i M を i C の i D ターミナルと、 i M を i C の i D ターミナルと、 i M を i C の i C の e M c D を e M c D を e M c D を e M c D を e M c D を e M c D を e M c D を e M c D を e M c D を e M c D を e M c D を e M c D c D c e M c D c D c e M c D c D c e M c D c D c e M c D c D c e M c D c D c e M c D c D c e M c D c D c e M c D c D c e M c D c D c e M c D c D c e M c D

n 個の面像鉄取装置 I R S 1 、 I R S 2 、 … … I R S n はn 値の I D ターミナル I D T 1 、 I D T 2 、 … … I D T n とそれぞれ 1 対 1 で 扱 枝 されている。また上配の各 I D ターミナル I D T 1 、 I D T 2 、 … … I D T n はそれぞれ I D 管 型 ターミナル I E T に 接 続 されて お り 、 各 J D ターミナ

ルに入力された!D情報およびパーコードは!D 仇相とパーコードを対応させた上ですべてID低 **垣ターミナル!ΕTに入力される。ΙD哲理ター** ミナルIETは共通ファイル30を有し、ID賃型 ターミナルに入力された情報は一旦すべて共通フ アイル30に配位されることにより「D哲理ターミ ナルにより一括して管理される。一方、上記各面 飲味取数置JRS1、JRS2、…… IRSn に おいて的込したように蓄積性蛍光体シートのパー コードが読み取られると、このパーコードはそれ ぞれの確位誘取技匠IRSからIDターミナル! DTを介してJD牧型ターミナルIETに入力さ れる。IDターミナルIETにおいては入力され たパーコードと対応するID前根が呼び出され、 このID賃報はパーコードを出力した画像鉄取貨 置に入力され、この画像院取都においては入力さ れたID賃帽に延づいた競取条件の設定や顕像処 **廻が行なわれる。このように複数の「Dターミナ** ルから待られる JD 情報を かべて 1つの LD 管理 ターミナルIETにおいて恁迎し、この哲理ター

ミナルに複数の耐像鉄取装型を接続すれば1Dタ ーミナル。顕像珠取装置の双方で鉄み取られるパ ーコードを中介として、いずれのIDターミナル で「D情報の入力がなされた蓄積性蛍光体シート も任意の画像跳取装置において画像質程の読取り を行なうことができる。 従って複数の画像熱取装 顕を無駄なく効率的に駆動させて多数の符符性型 光体シートの鉄取りを行なうことができる。また、 【 D 管 返 ターミナル | E T に はシステム全体の] D情報が一括して入力されているので、このID 管理ターミナルから組彫に用いられた蓄臥性災光 体シートに関する情報を基にする統計情報を簡単 に切ることができる。例えば雑彩部位をペースに して、蟾彫郎位毎の隠彫の頻度を求めたり、被写 体(取者)をペースにして、ある患者が特定の期 題中にどのような姐影をそれぞれ何回受けたかを 求めたり、あるいは顕影時間をベースにして、時 週帯毎に多く行なわれる歯形の種類を求めたりす ることもできる。また各蓄積性供光体シートをベ ースとして、それぞれ蓄積性蛍光体シートに対す

る 異形回数を求めることにより許額性労光体シートの方命管理を行なうことも容易となる。でなられたのような統計情報を本システムのみでなら、一つのは、システム外の、病験全体のデータを管理するホストCPU40に前記『ロ管理ターミナル『ETを接続して『D管理ターミナル』を行ってもよい。

なお、「Dターミナルは必ずしちのでは、 Lののでは、 Lのののでは、 Lのののでは、 Mののでは、 Mののでは、 Mのでは、 Model M

1 D 管理ターミナル1 E T は、 第4 図に示すようにすべて世列に応し、各 函像 放取装置が I D ターミナルを介さずに直接 I D 管理ターミナルから I D 情報を受けとるようにしてもよい。 またその場合には前5 図に示すように1つの I D ターミナルが I D 管理ターミナルを 兼ねることもできる。 (発明の効果)

 配録が賃担信理ターミナルに一抵して残るので、 その寿命管理も極めて容易に行なうことができる。

4. 周周の簡単な肌明

第1個は本発明のシステムにおける概形、情報の登録、および該取りを説明する観略図、

1 ··· 書積性蛍光体シート 11··· J D ターミナル

15… 編 彫

20… 面像跳取鼓器

30… 共通ファイル

1ET… JD哲 迎ターミナル

IDT1. IDT2. IDTn

… IDターミナル

1 R S 1 , 1 R S 2 , 1 R S n

… 頭像放取装置。

